



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



NLP 全員達成！の為、できること・しなければならないことは何か。

- Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -

今朝の朝会は、オンラインの通信トラブルが有り、解消後、時間調整できず、子供達に話ができませんでした。次のような話を考えておりました。

昨日、嬉しいことに**5年生にNSLが誕生しました**。9月7日から10月4日までの約1カ月間で、見事、達成です。本当に素晴らしいと思います。この**NLPの目標は、「学び直し。前学年までの総復習」「誰一人、取り残さない」**です。例えば6年生の課題を全て合わせると厚さは約10cmにもなります。このような圧倒的な量の課題を全員がやりきること、それを求めています。その中で、**全校生がこの目標を達成する為に、自分ができること、しなければならないことは何でしょうか。**それは、「**自分が行動する**」ということです。しかし、**皆さんが取り組むべき課題は、圧倒的な量になります**。1時間や2時間、1週間や2週間でできるものではないことは、誰が見ても、誰が考えても明らかです。だから、**やり切る為には、自分で工夫することが必要です**。どんな工夫があるのでしょうか。**1つ目は、ありとあらゆる場面で時間を見つけ出すということ、自分から時間を生み出すということ**です。**2つ目は、この問題集をする時間を一日の中に必ず設定すること、3つ目は、問題集に取り組む時間と量を増やすこと**、例えば、10分を15分に、5ページを10ページにするということです。

ここで、皆さんに尋ねたいことがあります。このNLP「誰一人取り残さない」の目標達成の為に、自分ができることは、ただ、自分の課題を黙々と頑張ることだけでしょうか。校長先生は他にもあると思います。どんなことだと思いますか。それは、「**友達を、仲間を、助ける、応援すること**」です。校長室前の返却ケースに朝返したのに、お昼になっても問題集が残っている場合があります。朝から下校の時まで残っている場合もあ

りました。「忙しいのかなあ。」と思うとともに、大変、寂しく、残念な気持ちになりました。校長先生は、時間がある時は皆さんにできるだけ届けました。下校時等、靴箱に入っていた人もあったでしょう。どうしてそんなことをしたのでしょうか。それは、少しでもやれる時間を見つけて取り組んで欲しいと思うからです。だって、そうは思いませんか。折角、頑張っ合格して、新しい問題集が入っているのに…。付箋が3枚貼ってある。この直しは、ものの3分もあれば終わるのに、それを出したら新しい問題集が手に入るのに…。返却ボックスの中の問題集が、その子の手元に届いてさえいれば、すぐに直して持って来れるのに…。新しい問題集に挑戦できるのに…。**思い出してください。目標は「誰一人、取り残さない。」**ということ。その為に自分が問題に取り組むことは勿論ですが、仲間がすぐに次の問題集に取り組めるように助けてあげることも、この目標達成の為にみんなができることだと思いませんか。**このことを既に、実際に、行動してくれた人もいます**。提出した、返却ボックスにクラスの誰かの問題集が返却されている。そしたら、その問題集を友達に届けよう。そして、「頑張っているね。はい。」って、笑顔で友達に届けよう。そうすれば、**届けた人も、届けられた人もきっと笑顔になる**。その笑顔は、**必ずこのプロジェクト全員達成の大きな原動力になる**、校長先生は、そう信じています。

さあ、みんなで、このNLP、「前学年までの総復習」「誰一人、取り残さない」を絶対に達成しよう。前、話しましたね。この問題集に取り組むことで、このプロジェクトを達成することで、皆さんは、4つのことを手にすることができます。それは、**①学校の学習がもっと楽しくなる「知識」②一人でも学習できる「学習習慣」③最後までやり通せたという「自信」④新しい学びへの「知的好奇心」**です。これらは、この中番小学校に「**学びの好循環**」の風を吹かせ、大きな波を、大きなうねりを必ず起こします。つまり、この問題集は、みんなの「**夢の実現へのパスポート**」だと校長先生は信じています。今の今から「**行動あるのみ**」です。